

平成27年度 第1回上下水道事業運営審議会「会議録(要旨)」

I 日 時 平成27年8月19日(水) 午後1時00分～午後2時30分

II 場 所 合志市役所 合志庁舎 2階庁議室

III 出席委員 後藤修一会長、鎌田典子副会長、濱元幸一郎委員、辻敏輝委員、緒方明委員、緒方博詞委員、高來正人委員、古財一志委員、坂本武夫委員、青木曾與子委員、小山昭則委員、矢野信司朗委員、竹原憲治委員 (13名)

IV 欠席委員 なし

V 事務局 建岡水道局長、可徳上下水道課長、木村管理工務班長、九重庶務料金班長、後藤主幹、坂田主幹、合志主幹、樋口主事

VI 会議次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び職員紹介
- 5 議事録署名委員の指名 (名簿順1番：濱元幸一郎委員)
- 6 議 題
 - (1) 会長及び副会長の選任について
 - (2) 合志市上下水道事業運営審議会について
 - (3) 上下水道事業について
 - (4) その他
- 7 閉 会

VII 会議録

事務局：定刻となりましたので只今より平成27年度第1回上下水道事業運営審議会を開催いたします。

(全員挨拶)

(資料の確認)

事務局：【委嘱状の交付】代表して辻敏輝委員にお願いいたします。

市長：【市長挨拶】

今それぞれ委嘱を受けて頂きました委員の皆様にご改めて感謝を申し上げます。本来であれば任期は2年で、4月に入りこの会議を招集しなければいけませんでした。お願いをする委員の方々も快く受けてくださる方と、なかなか難しい方とおられて、開催までに時間が遅くなった事をお詫び申し上げます。我々が預かる事業の中で水道事業は住民生活において不可欠なものであります。今、新たに木原野配水池の整備をしなければならないと思っております。地下水の質に澱みがあるということもあって、そこを改善できる所は改善させて頂きましたが、出来ないところにおいては新たに水源地を確保しなければならない。また、災害が起こったときも分散型にしておかないと水が足りないということもありますので、ある程度の量も確保しておかなければならない。こういった適正管理による安全安心でおいしい水をということで、今後とも引き続き頑張っていきたいと思っております。また下水道事業に関しましては、まちづくりの観点の中で旧来、旧合志町、旧西合志町ともに市街化調整区域という線引きの中で一部に市街化区域をつくりました。その当時の人口形態では、これほど人が多くなる計画ではなかったのではないかと思っています。ですから新たな下水を確保しながら片方では今ある下水の延命という形で長寿命化計画をしながらなるべく行政コストがかからないように、また、新たな設備が出来ないように計画しています。しかし、我々の思いとは別に人口が更に密集しているという事になってきますと下水道管理というものに対しては、行政が考えているだけではなくて、抜本的な見直しをやらなければならない時期が、近々出てくるのではないかなと思っております。数十年かけて整備してきたものを新たに全てやりかえるという事は何十年で返せるのかという事になりますので、当然これは無理な話だと思います。片方では人口を増やす施策をとっていかなければならないし、北部地域と南部地域のサービスの格差も含めた、そういったものも北部にできれば、色んなサービス事業をつ

くることによって人口移動をさせなければならない。こういったことも、まちづくりの観点の中で上水道も下水道も大きなウエイトを占めております。その中で、市民の代表として皆様方には適正管理・運営が出来ているのか、また今後の計画としてご意見を頂く中で行政の目で見ても分からない、そういった所を皆様方のご意見を聞きながら真摯に対応していかなければならないと思っております。是非、今後とも2年間皆様方には大変お世話になりますけれども、この合志市がかかえる上水道、下水道の問題こういったものに対しての適切なご助言とご審議を賜りますように重ねてお願い申し上げ、冒頭にあたりまして私からの感謝をこめた挨拶にかえさせて頂きたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

(市長退席)

事務局：【委員及び職員紹介】本年度水道局には18人の職員が在籍していますが、本日出席しております8人の職員のほうから挨拶申し上げます。

(職員自己紹介の後、委員名簿により委員自己紹介を行う)

事務局：【議事録署名委員の指名】当審議会では会議を開くたびに事務局で議事録を作成し、その後ネット上で公開しております。議事録を作成した後、委員の方から順番で議事録にご署名を頂いておりますが、これにつきましては名簿順にご指名させて頂いております。したがって今回は濱元委員をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局：6議題(1)会長及び副会長の選任について、これにつきましては会議の進行を局長よりお願いいたします。

局長：合志市上下水道事業運営審議会条例第5条で「審議会は、会長が召集し、その議長となる」となっていますが、まだ、会長が決まっていませんので第1議案だけは私のほうで進めさせていただきます。それでは「会長及び副会長の選任」となっていますがどなたか会長をやっていたらの方は、いませんか？

委員：事務局に一任します。

局長：それでは、事務局の案を發表します。事務局お願いいたします。

事務局：事務局の案としましては、会長を後藤委員、副会長を鎌田委員をお願いしたいと思います。

局長：事務局の案を發表しましたが、よろしければ拍手をお願いいたします。

委員：(拍手多数で決定) [会長：後藤修一委員、副会長：鎌田典子委員]

局長：それでは会長になりました。後藤委員に議長の引継ぎをお願いいたします。

会長：あらためまして、こんにちは。今回、上下水道事業運営審議会の会長

を仰せつかりました。皆様方のお役に立てるように頑張っていきます。今後ともよろしく申し上げます。それでは、私のほうで議題の進行をさせて頂きたいと思えます。よろしく申し上げます。会議次第の6 議題「(2) 合志市上下水道事業運営審議会について」事務局のほうから説明をお願いします。

事務局：(資料に沿って説明を行う)

会 長：それでは次に進みます。「(3) 上下水道事業について」ということで事務局より説明をお願いします。

事務局：(資料に沿って説明を行う)

会 長：ありがとうございました。それでは質問を受け付けたいと思えます。「(2) 合志市上下水道事業運営審議会について」、「(3) 上下水道事業について」説明がありましたが、何か質問なりご意見があればお受けしたいと思えます。

委 員：説明資料の「平成27年度第1回上下水道事業運営審議会資料集」の7ページに「経営の規模等」という表があります。その中に「竹迫簡易水道事業」の中で「菊陽町大字原水の一部」と書いてありますが、この世帯数は何戸かということと、竹迫簡易水道事業が終わるということですが、この場合の菊陽町との加入金等の扱いについて、その辺の事業方向について説明できるならお願いします。

事務局：この「竹迫簡易水道事業」の「菊陽町大字原水の一部」というのはセミコンテクノに日向第2配水池から配水しています。

委 員：セミコンの工業用水ですか？

事務局：竹迫の簡易水道区域で工場に飲用水を配っています。世帯はございません。加入金についてはバルブの口径でもらっています。

委 員：わかりました。

委 員：はい(挙手)

会 長：はいどうぞ

委 員：同じ資料の7ページの上段の文章で「昨今、漏水が多くなってきている」と書いてありますが、平成26年度の有収率は出ていますでしょうか？

事務局：平成26年度の有収率は出ていますので、下の事務所で調べてきます。

委 員：はい、よろしく申し上げます。

委 員：すみません。一ついいですか？

会 長：はいどうぞ。

委 員：6ページの簡易水道事業で平成28年度に竹迫、栄地区が統合されると書いてありますが、統合すればどんなメリットが、統合しなかった

らどんなデメリットがございますか？

事務局：簡易水道事業は 5,000 人よりも小さい給水人口の所でございますので施設自体がとても小さく、配水池は竹迫地区には幾つかございますが、栄地区には1箇所しかございません。全体的に設備が弱く、管径自体も小さな管径でつくってあります。簡易水道を上水道に統合するという事で、国の補助金を使って布設替を行うことができます。

委員：ということは工事を行うわけですか？繋げるだけではなく掘り返すわけですか？

事務局：はい、そういうのを行っています。簡易水道と上水道は確実に分けて給水しなければならないようになっていっているのがなくなるので、栄区域は合生から給水できるようになります。

委員：何で水道がある所に水道工事をやっているか分かりました。

事務局：配水管も昔の材質ですし古くなっていますので布設替を含めてやっています。

委員：もう一つよろしいでしょうか？「下水道等の状況」の中で未接続の方が 2,711 人と書いてありますが、その方たちは、どこへ流されているのでしょうか？

事務局：浄化槽を設置されてる方で、合併浄化槽の方は全部浄化して排水路へ流し、ずっと前に設置されている方は穴を掘って浸透でやっている方もいらっしゃいます。最終的に側溝に繋がれているのであれば、川へ流れていきます。未接続は特定環境保全下水道区域が多くございます。というのが、敷地が広いし高齢の方が多という理由がございます。ですから、接続をお願いしていますが、なかなか進まない状態です。

委員：もう一ついいですか？家庭には井戸を掘られている方がおられると思いますが、その方達の把握はされてますでしょうか？私が心配しているのは、その排水がどこに行くかという事なんですよ。川に流すか堀に流すかで、ちゃんと処理されていけば問題ないんですけど。

事務局：井戸を掘られている方も下水道に繋いでいらっしゃいます。井戸にメーターをつけて下水道料金ももらっています。自家用井戸の方が下水道に繋いでいない訳ではございません。

委員：道路側溝の管理保全はどこが行っていますでしょうか？

事務局：道路側溝については基本的には建設課です。ただ、公共下水道については雨水区域にもなっていますので、それに合わせたU字溝を布設するようにしています。もともと小さな側溝を即、大きなものにするのはなかなか出来ませんので、随時やっている所です。基本的に雨水幹線は、ある程度進めているところでございます。

委員：木が生えたりしますが、そういった木の整理だとかは住民でしなければいけないのですか？

事務局：基本的には住んでいる方での管理をお願いします。全域を建設課で把握できませんので、そこは住民管理をお願いします。

委員：はいわかりました。

会長：他にありませんか？

委員：よろしいですか？2点確認させてください。資料7ページにもありますように古い施設の老朽化ということで更新時期とあり事務局のほうで優先的にやると発言されましたが、この優先的にというのは先に造ったものから優先的にやるのか、それともメンテナンス等で劣化がみられるところからやるのかを教えていただきたいのが1点、もう1点が、今後更新につきましてはH I V P管で行うと言われてましたが、熊本の水はミネラルが豊富なのでバクテリア対策が必要に思われます。それに適した材料は私はポリエチレンではないかと考えていますが、こちらについてもご意見を伺ってよろしいでしょうか？

事務局：優先順位は、市で漏水調査を行っておりますので漏水箇所が多い所を優先的に行っております。ただ予算の兼ね合いもございますので全てをいっぺんには出来ませんので、それぞれの地域に分けて順次やっていくというのが計画的にやっているという所です。あとポリエチレン管ですね。これは水道局でも考えています。ただこれは、施工業者の技術面が必要になってきます。それとダクタイル鋳鉄管これも耐震性が強いです。主な配水幹線についてはダクタイル鋳鉄管で布設をして支線についてはH I V P管、宅内への引込みについてはポリエチレン管で布設しています。

委員：ポリエチレン管については場所に応じて使い分けているという事ではなかったでしょうか？

事務局：本管をポリエチレン管にするというのも水道局で検討しています。

委員：ありがとうございます。

会長：有収率で分かった事について言ってください。

事務局：有収水量率についてお尋ねがあったと思いますが、これは、お客様が使用した水の量を、配水池で送り出した水の量で割った数字です。最新の数字ですけど平成26年度末、平成27年3月31日時点で83.94%です。因みに平成25年度末ですと85.32%で若干悪くなっています。

委員：去年この審議会で聞いたら殆ど無いという事でしたけど。

事務局：去年は悪くなっていると思います。御代志第2配水池の内部の洗浄で

かなり使っていると思います。ボーリングで地下水をタンクに上げるときに少し濁りがあったので、先にドレーンで濁った水を排出して、濁りがなくなった状態で配水しています。そういう理由で率が落ちていきます。

委員：工事中の配水管破損による漏水もあるので、そういったものが不明水としてあがるわけですね。

事務局：有収率を改善するために布設替をしていますけど、なかなか有収率が上がらない状態です。配水池のメーターも点検する必要があるのじゃないかと考えています。他の自治体と比べると7～8%悪いです。

会長：他にありませんでしょうか？

委員：要望ですけど、合志市は電線が多いので水道管を布設される時に、建設課、九電、NTT一緒になって電線の地中化をできませんでしょうか？

事務局：地中化は水道管とは一緒にできません。U字溝と同じものを一回入れて、その中に管を入れて、その中に入れなければならないのでm単価がものすごく高いというのと、コンデンサーを50m毎に設置していかなければならないので、すごく事業費がかかります。市の5、6万人規模での地中化はできない部分があります。

委員：合志市は、畑の中でもどこでも電線が多いのでどうにかできないかと思っていました。

会長：他にありませんか。

(他になし)

会長：それでは、「議題（4）その他」事務局のほうから何かございますか。

事務局：事務局のほうからはございません。

会長：はい

事務局：これもちまして本日の議題は全て終了しました。会長におかれましては議事進行役大変おつかれさまでした。

事務局：【閉会】これもちまして審議会を閉会します。本日はありがとうございました。お帰りの際には交通事故等には十分ご注意ください。おつかれさまでした。